

ぴあ株式会社の事業適応計画のポイント

令和4年7月29日

- ・ エンタテインメントを提供する側と、それを受ける消費者との双方にとって、より快適で利便性の高い「感動のライフライン」を創造し、“ひとりひとりが生き生きと”好きなエンタテインメントを自由に楽しむことの出来る社会の実現を目指す。
- ・ その実現に向けた取り組みとして、新規事業において、XRコンテンツの開発やバーチャルライブプラットフォームの開発など、DX化による新規事業に投資を行っていく。
- ・ また既存事業においても、共通プラットフォームや、ダイナミックプライシングといった新サービスを提供することで、収益のアップを図るとともに、票券業務の共通化、基幹システムの刷新を行うことで、生産性の向上を図る。

1. 事業適応計画の実施期間

令和4年（2022年）7月～令和8年（2026年）3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度である2026年3月期のEBITDAマージンが、基準年度である2022年3月期を5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

新規事業（XRコンテンツやNeoMe等）の売上がグループ会社全体売上の1%以上となることを目指し、既存事業のチケット流通事業においては、計画終了年度である2025年度の売上原価率を基準年度（2021年度）と比較して5%以上低減することを目指す。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金の控除上限の特例）

<取組の内容のイメージ>

[新サービスとしてバーチャル空間で新感覚ライブや交流が楽しめるプラットフォームアプリ「NeoMe」\(ネオミー\)を開発](#)

